

日本体育大学

令和8年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	体育・スポーツ文化・スポーツマネジメント学部 特別選抜 外国人留学生選抜
科目	小論文

【出題の意図】

- ・志願者が、自国の文化的特徴を考慮したうえで、スポーツによる国際交流について表現できる能力を有しているか把握するための問題である。
- ・志願者は来日して国際交流をする立場である。それを考慮し、逆に外国人として異国に来ている日本人留学生の身に共感的に立たせ、スポーツを通じた国際交流を具体的に想定させる意図がある。
- ・スポーツを文化項目の一つとして認識させ、それを効率的に国際交流に応用する能力を有しているかを問う設問である。また、スポーツを通しての国際交流の問題点、改善点、一般的な理想像を探究できるか評価する。

【模範解答】

スポーツによる国際交流の理想的な構成方法として、自国のスポーツ文化と食文化や観光など他の文化項目と融合させながら、他国の方々に紹介・体験する機会を設ける事ができる。その過程で、他国の特徴あるスポーツ文化も考慮に入れると、友好的な交流が実現できると考えられる。

例えば、南フランスのマルセイユからの留学生が日本に来ると仮定する。南フランスの地域文化を考慮してスポーツ交流を日本人留学生とする場合には、ペタンクのような地域社会に根ざしたスポーツ文化と、その地域で活発に行われるサッカーやテニスなどの一般的なスポーツを組み合わせた多項目プログラムが効果的だと考えられる。

また、フランスは柔道人口が多い国である。日本の武道で交流を広めるのも、日本人留学生にとって受け入れやすい種目である。試合後にはブイヤベースなどの南仏の郷土料理を楽しむ交流会も設ける事により、多くの文化項目の融合が可能になる。また、スポーツ交流だけでなく南フランスの豊かな文化を体験する機会も興味深い。

異文化交流の問題点としては、コミュニケーションの問題が考えられる。意図が正しく伝わらず誤解が生じることも予想される。また、価値観の相違により、誤解が生じることも予想される。事前に異文化に対して勉強会を開くなどし、当日は通訳などを介してコミュニケーションを行う事も、対策であろう。

「スポーツを通じた異文化交流」の理想的な形とは、スポーツを共通言語として相互理解を深め、お互いに文化の違いを認識しながら、より良い関係性を築いていくことである。重要なポイントとして、異文化の相互尊重と理解は不可欠である。